



健康福祉センターさわやか ☎76-4006

他人事ではない！

身近な病気 大腸がん



「がん」と聞いて、みなさんはどのようなイメージを抱きますか？

近年では、日本人の2人に1人が生涯でがんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっており、日本人の死因で最も多い病気です。平成25年の厚労省人口動態統計では、特に大腸がんにかかる人は、30年間で約6倍近くに増え、死亡者数は全てのがんの中で、男性で3位、女性で1位になっており、1年間で4万7000人以上の人が命を落としています。

大腸がんが増えている一方で、早期に発見し治療が行われれば、90%以上完治するもののがんです。しかし、早期ではほとんど自覚症状を感じることはありません。早期発見のためには大腸がん検診を受けることが最も有効な手立てですが、日本はがん検診受診率が低いのが現状です。「時間がない」「出血は痔が原因だ」など様々な理由で健診を受けない人がいます。

大腸がん検診で見つかるがん

の60%は、完治が見込める早期がんです。一方で、自覚症状や異常が出てから病院で見つかるがんの80%は進行がんといわれています。特に大腸がんの発生が増加する40歳以上の方には、年1回、検診を受けることを強くお勧めしています。

洞爺湖町も例外ではありません！

町の現状（主に集団検診の現状）としては、①町の集団検診では、大腸がんの方が年に1、2名ほど発見されています②発見されている方は50歳代、80歳代まで幅広くいます③比較的男性の方が多く発見されています④国の目標受診率は50%以上ですが、洞爺湖町の大腸がん検診受診率は22・5%（H25年度）とまだ低いです。

まずは手軽にできる便潜血反応検査を受けましょう

一般的に検診で取り入れられている簡単な検査方法です。大腸にがんやポリープ（腫物）ができると、便が大腸を通過する際に接触して出血し、便に血液が混じることがあります。便潜

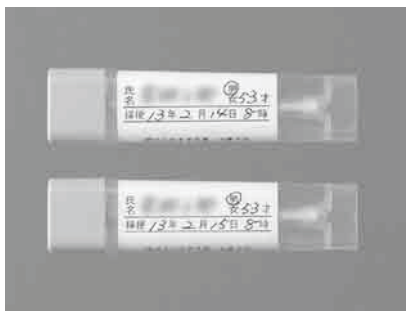
血反応検査は、便に血液が混じっていないかどうかを調べ、大腸がんのリスクがある人をふるいわけの検査です。

検査方法は、自宅で専用の検査容器を使って、ご自身で便の表面をこすって一部分を採り、検診を受診する病院や健診機関に提出するだけです。2日分（2回分）採便することで、見逃しを防ぎます。

この検査で「陽性（血が混じっている）」と判断された場合、がんに限らず何らかの疾患の疑いがありますが、出血の原因が何の疾患であるかまでは判別できません。そのため、「陽性」と判断された場合は、必ず精密検査を受けてください。また、1度陰性であっても、その後必ずつと安心なわけではありません。自己判断で放置せず、毎年定期的に検診を受けることを習慣と

し、大腸がんの早期発見・治療につなげましょう。

＜採便容器＞



表面をまんべんなくこすり取るだけ！



集団健診

（特定健診・がん検診）の

お知らせ

■日程・会場

5月27日(水)・28日(木)
健康福祉センターさわやか
5月29日(金)
洞爺ふれ愛センター

◆事前に予約が必要です。
詳しくは回覧チラシをご覧ください

◆問合せ・申込み
健康福祉センターさわやか ☎76-4006